

保護者様

丹波市立春日部小学校

## 令和 4 年度 学校評価アンケート集計結果について

昨年の12月中旬から末にかけて実施しました学校評価アンケートの集計結果をご報告させていただきます。

今年度の保護者アンケートは、全校生 105 名のご家庭に実施し、回収率は、95%となりました。また、同時期に児童にもアンケートをとりました。その結果を、回答が A(そう思う)か B(大体そう思う)を選んだ方と C(あまりそう思わない)か D(思わない)を選んだ方をそれぞれ合計し、肯定的な回答が 95%以上のものや昨年比±5%以上違う項目についてまとめております。内容をご確認いただきますと共に、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちを育ていけるようご支援をよろしくお願いいたします。

### 保護者アンケートより

#### ○肯定的な回答が増えた、または 95%以上のもの

2. 学校は、子どもが楽しく学校に通えるように、生活指導上の問題解決(いじめ・不登校等)や未然防止に努めている。

- ・肯定的な回答が97%と高い割合であった。
- ・いじめアンケートや日々の見取り等が活用できていることが良い結果につながっていると考えられる。来年度も楽しい学校になるよう全職員で共通理解を図り、問題の解決や未然防止に努めたい。

6. 学校は、地域とともにある学校づくりを進め、教育の充実に努めている。

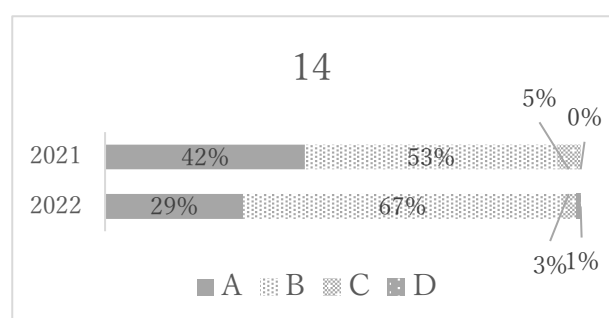
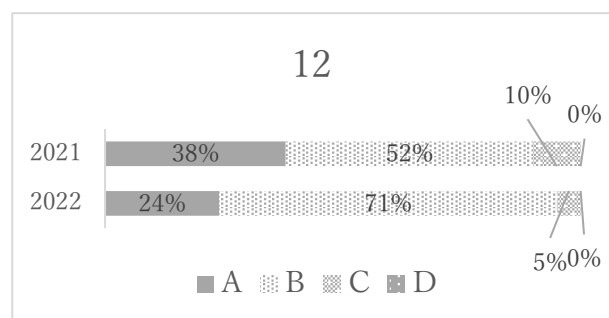
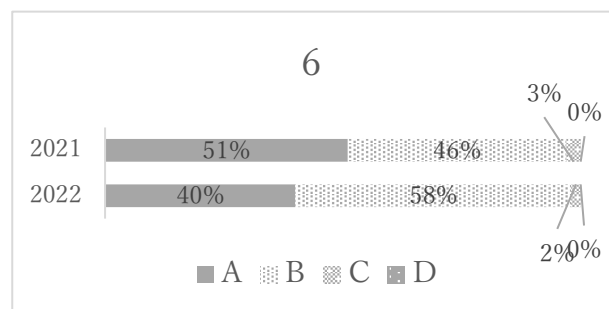
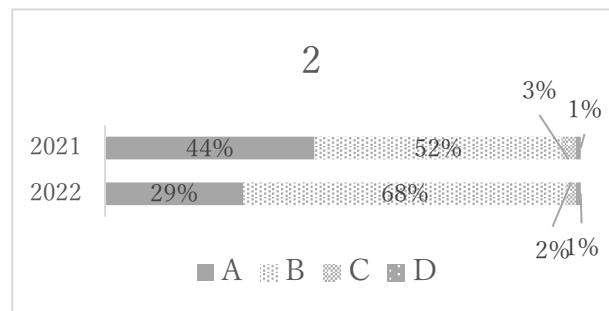
- ・肯定的な回答が98%と高い割合であった。
- ・全校での川活動や黒枝豆の収穫体験の他、学年毎に地域と関わるふるさと学習を取り入れ、児童が地域を知るきっかけづくりに取り組んでいる成果だと考えられる。
- ・今後も地域の方々为学校に関わっていただけるように地域全体にサポートスタッフを募集し、読書ボランティア・登下校のサポート・ゲストティーチャー等でお世話になりたい。

12. 学校は、タブレットPC等のICT機器を活用した学習を進めるとともに情報モラル指導を行っている。

- ・肯定的な回答が95%と高い割合であった。
- ・参観日や家庭学習等での様子から、機器活用の様子がよく伝わっていると考えられる。今年度は、ネット上でのトラブルも無かった。サイバー犯罪被害防止教室や各学年に合わせた情報モラル学習を通して、未然防止につなげていきたい。

14. 学校は、人権教育(ジェンダー平等を含む)を推進するとともに、一人ひとりのよさやがんばりを認めている。

- ・肯定的な回答が96%と高い割合であった。
- ・学校朝会や道徳、総合的な学習の時間等、人権啓発の機会を多く持っている。これからも全職員で全児童を見守り、一人ひとりの良さや頑張りを認めていきたい。

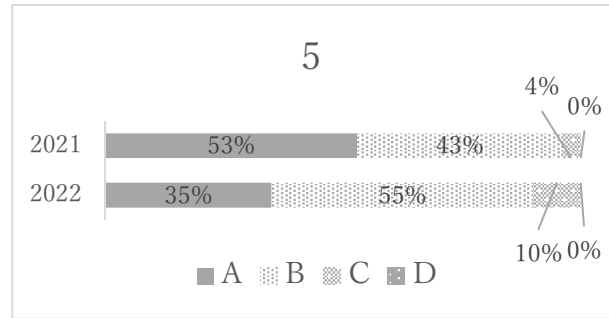


## △肯定的な回答が減ったもの

### 5. 学校は、子どものことで相談しやすい。

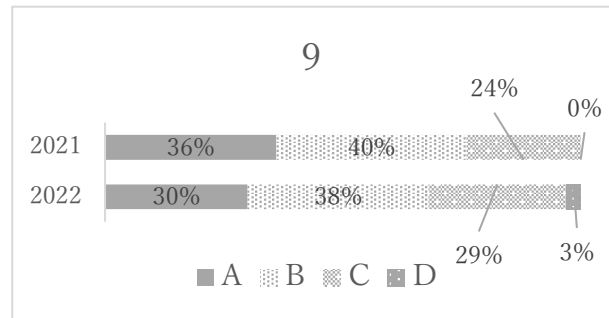
(電話、連絡帳、教育相談、個別懇談、専門機関の紹介等)

- ・昨年度に比べて6%ダウン(96%→90%)。
- ・保護者の相談内容が多様化し、十分に対応ができていないのではないかと考えられる。
- ・来年度も日々の電話連絡や連絡帳でのやり取りの他、教育相談や個別懇談等の機会を利用し、保護者や児童の話をよく聞き、願いを受け止めて、信頼関係づくりに努めたい。



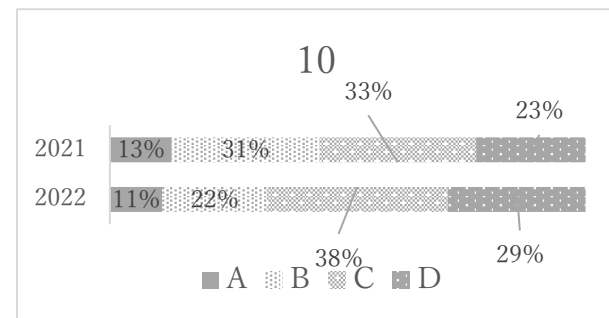
### 9. 子どもは、家庭学習が習慣化している。

- ・昨年度に比べて8%ダウン(76%→68%)。
- ・児童アンケートで「宿題や自主勉強など自分から進んで学習している」と回答した児童は88%で、昨年度比+8%であった。宿題は済ませているものの、学習時間や意欲については保護者の方の期待とズレがあると考えられる。
- ・家庭学習の仕方などについて、今以上に保護者の方との連携を図りたい。



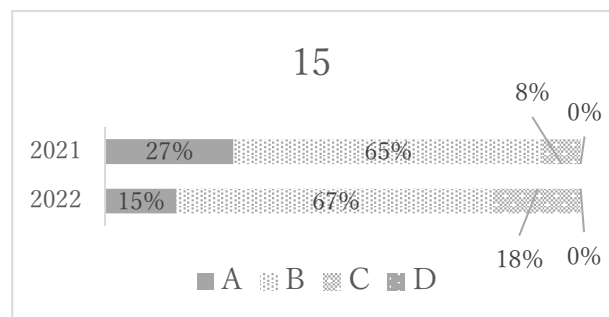
### 10. 子どもは、家庭読書が習慣化している。

- ・昨年度に比べて11%ダウン(44%→33%)。
- ・児童アンケートで「学校や家で進んで読書をしている」と回答した児童は69%で、昨年度比+14%であった。学校では進んで読書をしているものの、家庭では他の娯楽を好んでいる児童が多いためだと考えられる。
- ・老若男女問わず活字離れが叫ばれて久しいので、保護者の方の読書習慣等、家庭での読書環境についても今まで以上に連携を図りたい。



### 15. 子どもは、互いの違いやよさを認め合い、相手を思いやる言葉づかいをしている。

- ・昨年度に比べて10%ダウン(92%→82%)。
- ・テレビやゲーム等の影響から、好ましくない言葉遣いの低年齢化が考えられる。
- ・「みんなちがって、みんないい」という個性を認め合う感覚や「されて嫌なことはしない」という意識をベースに、これからも多様性を認め合い、人権に敏感な感覚や視点を持たせていきたい。

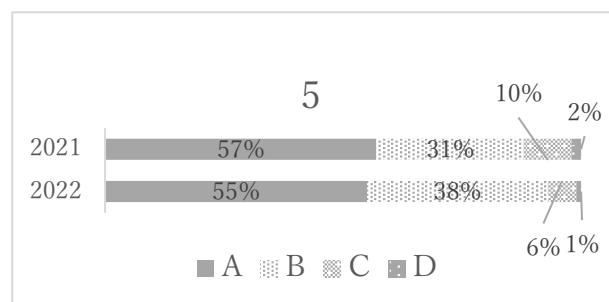


## 児童アンケートより

## ○肯定的な回答が増えた、または95%以上のもの

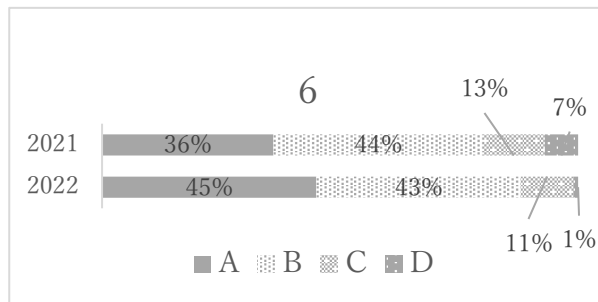
### 5. 学校や家、地域で、自分からあいさつをしていますか。

- ・肯定的な回答が93%で、昨年度に比べて5%アップ。
- ・児童会のあいさつ運動をはじめ、各学級での指導や取り組みの成果だと考えられる。
- ・学校や家庭でのあいさつに比べると地域ではやや消極的な児童の姿も見られるので、地域の方ともさらに連携を図りあいさつの輪を広げていきたい。



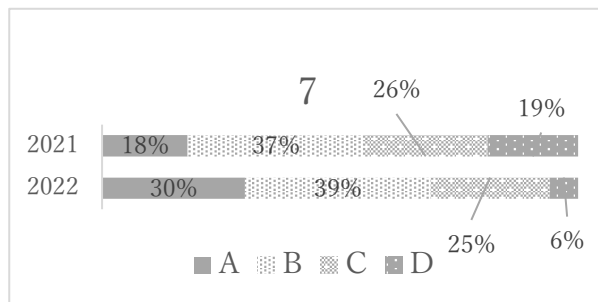
## 6.宿題や自主勉強など自分から、進んで学習していますか。

- ・肯定的な回答が88%で、昨年度に比べて8%アップ。
- ・決まった時間に、主体的に家庭学習をする習慣を定着させることが大切である。また、自分から学ぶことの大切さや自主学習の良い見本を紹介して価値づけを図り、今以上に保護者と連携を図っていきたい。



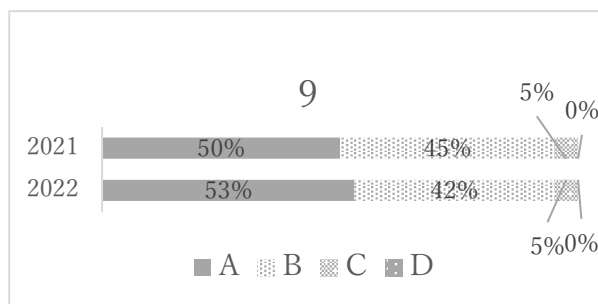
## 7. 学校や家ですすんで読書をしていますか。

- ・肯定的な回答が69%で、昨年度に比べて14%アップ。
- ・今年度から国語科の研究を始め、指導方法の工夫や関連図書を活用等に取り組んだ成果だと考えられる。
- ・保護者の方のご理解、ご協力のおかげで家庭読書の日や読書通帳等の取り組みも定着してきている。家庭とともに読書の魅力を伝え、読書できる環境づくりをさらに進めていきたい。



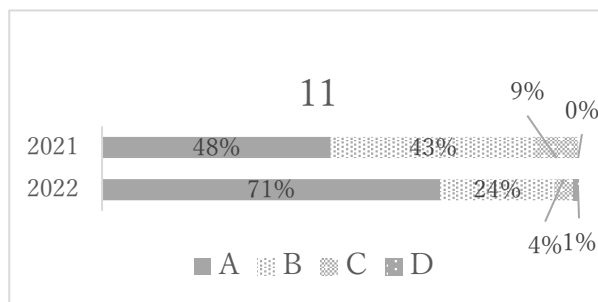
## 9. 授業中に「わかった・できた」と感じられますか。

- ・肯定的な回答が昨年度同様95%と高い割合であった。
- ・「授業中、先生たちはわかりやすく教えてくれる」と肯定的な回答も93%と高い。低学年からの複数指導や高学年での兵庫型教科担任制での学習等で様々な教師が関わっており、児童の意欲的な学びに繋がっている。



## 11. タブレットを学習に、役立てていますか。

- ・肯定的な回答が95%と高い割合であった。
- ・一昨年度より1人1台タブレットを使えることになり、学年の発達段階に応じて授業をはじめ、学校生活の様々な場面で活用してきている。
- ・タブレットの効果的な活用について、さらに研修を深め、児童の意欲的な学びや学力の定着に繋げていきたい。



## △肯定的な回答が減ったもの

### 4. 学習で分かりにくい時に先生にたずねやすいですか。

- ・昨年度に比べて7%ダウン(87%→80%)。
- ・学年が大きくなるにつれて、「分からない」ことを友だちに知られることが恥ずかしいと思う児童が増えていると考えられる。
- ・低学年の時から「教室は間違ってもいいところだ」という雰囲気でき自由に発言ができ、みんなで間違いから学んだり多様な意見を出し合ったりする仲間づくりに努めていきたい。

